

2023年5月のてがたんは申し込み制にて実施しました。ご参加いただいたみなさま、ありがとうございました。観察記録のレポートを作成いたしましたので、ご覧ください。

次回6月のてがたんは6月10日(土)で、テーマは「でんでんむしむしかたつむり」です。ぜひご参加ください。6月1日(木)から電話での申し込みを開始いたします。市民スタッフのみなさま、次回の下見は6月4日(日)です。

5月の観察コースと内容

- コース：鳥の博物館→藤棚→市民農園前→けやき広場→親水広場
- 観察日時と天気：2023年5月13日(土) 10:00~12:00 曇り時々小雨
- 参加人数：15名(大人11名、中学生以下4名)
- 市民スタッフ：5名(北村章子・伊東茂子・木村 稔・弘實さと子・湯瀬一栄)
- 博物館友の会：1名(古澤紀元) ●鳥博職員：1名(小田谷嘉弥)

観察した生き物の記録

「*」は、下見だけで見られたもの。

【鳥類】

キジ科：キジ/カモ科：マガモ*、カルガモ、コガモ/カイツブリ科：カイツブリ/ハト科：キジバト/ウ科：カワウ/サギ科：アオサギ、ダイサギ、コサギ/クイナ科：バン*、オオバン/シギ科：セイタカシギ*/タカ科：トビ/カワセミ科：カワセミ*/キツツキ科：コゲラ/カラス科：ハシブトガラス、ハシボソガラス/シジュウカラ科：シジュウカラ/ツバメ科：ツバメ/ヒヨドリ科：ヒヨドリ/ウグイス科：ウグイス/エナガ科：エナガ/ヨシキリ科：オオヨシキリ/ムクドリ科：ムクドリ/スズメ科：スズメ/セキレイ科：ハクセキレイ/アトリ科：カワラヒワ/ホオジロ科：ホオジロ
家禽や外来種：コブハクチョウ(カモ科)、ドバト(ハト科)

【両生爬虫類】

ニホンアマガエル、ウシガエル、ヌマガエル*、ミシシippアカミミガメ、アオダイショウ*

【魚類】

カダヤシ、アメリカナマズ(アオサギに捕食されていたもの)

【昆虫】

チョウ目：モンシロチョウ、モンキチョウ、アオスジアゲハ/トンボ目：コフキトンボ、アオモンイトトンボ/コウチュウ目：ナナホシテントウ、カミキリムシの1種/カメムシ目：ムネアカアワフキ/ハエ目：ユスリカのなかま/ハチ目：クマバチ

【花・実】

草の花 キク科：セイヨウタンポポ、キツネアザミ、オオジシバリ、ハハコグサ、ウラジロチチコグサ、ノゲシ、ハレジオン、ブタナ/ナデシコ科：ノミノツツリ、ハコベ、/アブラナ科：マメグンバイナズナ/オオバコ科：ヘラオオバコ、トウオオバコ、オオイヌノフグリ、タチイヌノフグリ/イネ科：ムギクサ、コバンソウ/ヒユ科：ナガエツルノゲイトウ/アヤメ科：ニワゼキショウ、オオニワゼキショウ、キショウブ、チリアヤメ/カタバミ科：カタバミ、イモカタバミ/バラ科：ナワシロイチゴ/ドクダミ科：ドクダミ/キンポウゲ科：ケキツネノボタン/タデ科：ギシギシ/アカバナ科：ユウゲショウ(アカバナユウゲショウ)/マメ科：コメツブツメクサ、ムラサキツメクサ、シロツメクサ/サギゴケ科：トキワハゼ/セリ科：オヤブジラミ/フウソウ科：アメリカフウロ/ハマウツボ科：ヤセウツボ
木の花 スイカズラ科：スイカズラ/アジサイ科：ウツギ/ミズキ科：ヤマボウシ/バラ科：ノイバラ、シャリンバイ/モクセイ科：イボタノキ
実 クワ科：マグワ/バラ科：ソメイヨシノ、オオシマザクラ、ヘビイチゴ

5月の観察アルバム



今回のテーマは「ヨシ原で子育てする水鳥たち」でした。雨が降り出しそうな天気でしたが、市民農園前の植生帯を中心に、オオバンやカイツブリなどの繁殖行動の様子を観察できました。また、この時期ならではの鳥たちの行動も観察することができました。



今月の案内人
小田谷嘉弥・北村章子



① さえずっていたオオヨシキリの雄



② ヨシ原の縁で採食していたオオバン



③ 浮巢で抱卵していたカイツブリ



④ アメリカナマズを捕らえて飲み込んだアオサギ



歩いたルートと観察した生き物



⑤ 田んぼで採食していたキジのつがい



⑥ 強い香りを放っていたスイカズラ



⑦ ヨシに乗っていたニホンアマガエル



⑧ ヒヨドリが食べていたオオシマザクラの実

今月の鳥 カイツブリ (カイツブリ目カイツブリ科)

カイツブリは、手賀沼のヨシ原を代表する水鳥の一つで、独特の丸っこい体形やよく潜る行動が特徴です。手賀沼では一年中見られ、主に春から夏にかけてヨシ原の中や縁に浮巢を作って繁殖します。しばしば秋から冬にかけても繁殖し、真冬にヒナを見ることもあります。目立つ浮巢では親鳥が巣を離れると白い卵が目立ってしまうので、一時的に巣を離れる際には、巣材で卵を隠す行動が見られます。カイツブリは、よく響く「ケレケレケレ…」という鳴き声のほかにも、「ピッピッピ…」「ケーケー」「プリリ」など様々な声を出します。なわばりの主張、ヒナへの呼びかけ、警戒など、様々な場面によってこれらを使いわけているようです。ヨシ原の中から声が聞こえたら、姿を探してみましょう。



2羽のヒナを連れて移動するカイツブリ